

# 理事会・評議員会レポート

平成 26 年 3 月 14 日に開催した理事会の主な審議概要は以下のとおりである。

## ○企業会計基準委員会（ASBJ）委員長の選任

平成 26 年 3 月 31 日をもって西川委員長（当時）が任期満了することに伴い、後任の委員長に小野委員長代行（当時）が選任された。小野氏の委員長の任期は、定款第 59 条第 2 項の規定に基づき、平成 28 年 3 月 31 日までとなっている。

## ○第 15 期（平成 26 年度）の事業計画の承認

平成 26 年度事業計画が承認された。事業計画の概要は、以下のとおりである。

- 会計基準・適応指針・実務対応報告の開発を行う。新規のテーマについては、市場関係者のニーズを踏まえ、基準諮問会議からの提言を尊重し、選定を行う。
- IFRS のエンドースメント手続は、平成 24 年 12 月 31 日現在公表されている IFRS について、作業開始から概ね 1 年を完了目標として検討を進めている。
- 国際的な会計基準の開発への対応は、国際会計基準審議会（IASB）において審議中のテーマに関し、IASB での検討の方向性が我が国で受け入れることが可能なものであるかについて、適時に我が国の意見を取りまとめ、IASB に意見発信を行う。
- 国際的な意見発信は、会計基準アドバイザー・フォーラム（ASAF）への参加を中心とし、同時に、米国財務会計基準審議会（FASB）や欧州財務報告諮問グループ（EFRAG）等の他の会計基準設定主体等との関係を強化する。
- 国際的な会計基準開発に貢献できる人材の育成を中長期的に計画的・組織的に取り組むため、「会計人材開発支援プログラム」の第 2 期プログラムを実施する。
- 高品質でグローバルな会計基準の開発に貢献するため、IFRS 財団を資金面、人材面で支援する。
- ディスクロージャー、広報、研修は、有価証券報告書及び四半期報告書の作成要領をとりまとめ、これにかかわるセミナーの実施及び Web 配信を通じて、市場関係者へ必要な情報提供を行う。
- 国内会計基準及び IFRS の開発状況などを周知するため、ASBJ オープン・セミナーを引き続き開催する。
- 利用者のニーズ等を踏まえつつ、財務会計基準機構（FASF）のホームページをはじめとした各種媒体を通じ、情報発信を行う。
- FASF の財政基盤を安定化させるため、未加入会社への加入促進活動などを行い、現行会員の維持にも注力する。

○第15期（平成26年度）の予算の承認

平成26年度の予算が承認された。経常収益は経営統合の進展による受取会費の減少等を考慮し、1,436百万円（前年度比△24百万円）としている。一方、経常費用は、人員の効率的な運用等を織り込み、1,442百万円（前年度比△17百万円）としている。経常収益から経常費用を差し引いた当期経常増減額は、△6百万円（前年度比△6百万円）となっている。

（千円）

	平成26年度予算	平成25年度予算	増減
経常収益	1,435,842	1,459,456	△23,614
うち受取会費	(1,368,600)	(1,378,750)	(△10,150)
経常費用	1,441,919	1,459,076	△17,157
当期経常増減額	△6,077	380	△6,457

○その他の委員会（業務推進委員会）委員の選任

小野 ASBJ 委員長代行（当時）が、その他の委員会（業務推進委員会）委員に選任された（平成26年4月1日就任）。

平成26年4月以降のその他の委員会（業務推進委員会）の名簿は以下のとおりである。

委員長：

都 正二 FASF 代表理事常務（常勤）

委員：

小野 行雄 ASBJ 委員長（常勤）

新井 武広 ASBJ 副委員長（常勤）

小賀坂 敦 ASBJ 副委員長（常勤）